

優秀賞

水は自然からの贈りもの

私の両親は、江戸末期に創業された会津味噌の専門店で働いています。名物の味噌料理や地元のお酒を楽しむに、多くのお客様が来店します。お店で食事をするお客様は、口をそろえて「会津はおいしい食べ物がたくさんあって、何を食べようか迷ってしまう。」と話してくれるそうです。母は「会津は自然にも気候にも恵まれているから、きれいで豊かな水がある。そのおかげでおいしい米も酒も味噌もできるとですよ。」と話しています。

私の住む会津は山に囲まれた盆地で、きれいな川が流れ四季の景色を楽しめる、自然豊かなところです。冬になるとたくさん雪が降り積もり、厳しい寒さの日々が続くこともあります。冬が終わり、真っ白な磐梯山も雪が解ける頃になると、その雪解け水がゆつくりと時間をかけて、私たちのところへ巡

ってきます。長い長い時間をかけてきれいな水が届けられる、そう思うと、私の知らないところで、大きな自然が私たちに与えてくれるもの大切さがわかります。

会津若松には自然や食べ物、歴史や伝統工芸などたくさん魅力があるから、多くの観光客が訪れるのだと思います。それらを見えないところで支えているのが、自然がくれる豊かな水です。

会津に来た人たちが、米がおいしい、日本酒がおいしい、味噌がおいしいと言って喜んでくれるのも、会津盆地に降り積もる雪が解けて豊富な水になり、その水が田んぼに流れて稲が育ち、おいしい米ができるおかげです。その米で日本酒や味噌を仕込み、会津を代表する食べ物がつくられていく。そう思うと、厳しい冬も毎日のように降り続く雪も、今

会津若松市立一箕中学校 二年

満田

栞音

までは寒くて冷たくて嫌いだと言っていたけど、私
が好きな自慢の会津であるためには必要なものだっ
たのだと受けとめられるようになり、少し見方が変
わってきました。

今、コロナの流行によって、会津を訪れる人が少
なくなってきました。両親の働いている店にも、
行きたいけれど行けないという声も多く、自慢の味
を楽しんでいただくことができません。でも、こん
なときだからこそ、これまで大切に守ってきた伝統
の味を残していかなければならないのだと思いま
す。いつか安心して観光旅行ができるようになって
とき、「会津はおいしい食べ物があるから何回も来
たいです。」と言ってもらえるように、地道に準備
しておくことが大事なのだと思います。

でも、おいしい米も酒も味噌も、すべては水にか
かっています。おいしい食べ物を喜んで食べてもら
うためには、会津の水を大事にしなければならな
いのです。

私が通う中学校の隣には、浄水場があります。猪
苗代湖の水を原水とする会津若松の水は、この浄水

場できれいにろ過され、私たちの家庭へと届けられ
ています。最新の維持管理システムが導入され、私
たちが安全な水を使えるようになっていのです。

自然の水は日々めぐっています。川や海の水は蒸
発して雲になり、そこから雨や雪が地上へと降り注
ぎ地下に染み込みます。それがやがて川や海に流れ
込み、また雲になりを繰り返しています。そんな自
然の流れの中で、私たちがゴミや生活排水で水を汚
している。やがて浄化しきれない水が自分の元へ返
ってくるような事態が起きるかもしれない。そう考
えたら、ゾッとしてしまいました。水を守ること
が、会津の食文化を守り、観光資源を守り、何より
私たちの生活そのものを守ることになるのです。

会津の大きな自然が、私たちに与えてくれている
ものの大きさに気づいた今、会津で暮らしている私
たちが水を大切にすることで、会津の良さをこれか
らも伝えていけるのだと思います。